

## 第4回 理事会

日時：令和2年6月19日(金)11:05~12:15

場所：連合会館201会議室

出席者：長田会長(議長)、伊藤副会長、清水副会長、末永常務理事、稲垣、大沼、小俣、佐々木、竹村、徳永、長谷川(信)、船山、升元、三好、和田各理事

監事：野村、齋藤各監事

陪席：熊谷(事務局)

欠席者：秋山、池見、太田、大谷、奥村、北田、富岡、西山、長谷川(淳)、林  
(理事25名中15名出席(過半数)により理事会は成立)

議事内容：

### 1. 前回議事録の確認

- ・令和2年5月21日開催の第2回理事会の議事録案について承認した。

### 2. 審議事項

#### 1) 会員状況及び新入会員の承認

- ・事務局長から6月18日時点の会員状況について説明があり、8名の正会員、1名の学生会員の入会を承認した。
- ・6月18日時点では、正会員1,834名、学生会員34名、名誉会員56名となり、総数は1,924名であることを確認した。

#### 2) 部門長、委員長、部会長、顧問の選任

- ・管理運営部門長、研究教育部門長、常置委員会の編集委員長、事業企画委員長、国際委員長、研究企画委員長、応用地質学教育普及委員長、広報情報委員長、研究部会の地下水研究部会長、応用地形学研究部会長、環境地質研究部会長、災害地質研究部会長、土木地質研究部会長の選任を行った。また顧問の選任について承認した。

### 3. 確認事項

#### 1) 収支状況

- ・事務局長から令和2年度4、5月期の本部収支が説明された。
- ・現在のところ、特に問題は見当たらない。

#### 2) 選挙管理委員長の選任について

- ・会長から、選挙管理委員長の選任について報告があった。

#### 3) 委員会、研究部会等の名簿の確認について

- ・常務理事から、現時点の委員会、研究部会、研究小委員会、特別委員会の名簿に関し説明された。本名簿をもとに委嘱状を発行するため、関係する名簿の確認をお願いしたい。

### 4. 本部からの報告事項

#### 1) 他学協会からの依頼

- ・清水副会長、常務理事より「令和3年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞、若手科学者賞及び研究支援賞受賞候補者の推薦について(依頼)」に関し説明された。先立つ第3回総務委員会では、昨年度も申請を挙げていることなどから候補者無しと判断した経緯の説明があったが、議論の結果、これまでの申請に上げられた候補を含め、機会がある時には前向きに申請を検討した方が良いという判断が示された。7月22日締め切りのため、至急総務委員会において検討することとなった。

#### 2) 令和2年度研究発表会について

- ・前担当理事から、令和2年度研究発表会についての説明があった。現状では実施・不実施の両方のシナリオを検討しており、9月上旬までに決定を行う必要があるとのことであった。
- ・中部支部からは、現状では会場である名古屋国際会議場とのやりとりから、参加人数を3分の1から4分の1程度に抑えてほしいこと、消毒等の対応は学会にて対応してほしいことの要請を受けていることの紹介があった。
- ・会場は一部(アースサロン、意見交換会会場)を除いてキャンセル料の発生しない特例があるとのことであるが、なるべく早期(7月中)に一定の目安を示すこととなった。

#### 3) 令和2年度シンポジウムについて

- ・前担当理事から、今年度シンポジウムは延期することとなったこと、延期は1年が望ましいこと、具体的な内容は8月以降に検討すること、Web開催であれば10月中を目途に提案することが説明された。
- ・コメントとして、EGUでは発表やポスターもWeb上で実施しているものの、著作権の問題が残っていること、地盤工学会の研究発表会でもディスカッションセッションはWebで実施されること、準備期間を想定すると1年延期は妥当な判断であることなどが述べられた。
- ・シンポジウムにおける招待講演などはWebで実施することに問題があるかもしれないという意見の一方で、Zoomを用いた講演会にも一定のメリットもあるといった意見もあることなどから、メリット・デメリットや収支も含めて、事業企画委員会で引き続き議論していただくこととなった。

#### 4) 令和3年度研究発表会について

- ・前担当理事から、2021年10月14、15日に実施予定の研究発表会の準備状況について説明があった。準備状況についての情報を共有するとともに、おおよそ

の方向性について了承された。

5) 火山地域の応用地質と岩の力学に関する国際WS関連

・清水副会長から、概略の説明があった。組織委員会のメンバーに当会のメンバーの一部も含まれていることから、適宜協力していく旨確認された。

6) 災害調査団関連

・担当理事から、災害調査団の現状についての説明があった。北海道胆振東部地震に関する報告書は近々出版予定とのことであった。また台風19号については、8月頃までには200ページ程度の報告書を仕上げ、10月の研究発表会にて販売を行いたいとのことであった。台風19号については報告会を開催したい意向があるものの、現状では未定とのことである。

7) 日本応用地質学会表彰について

・清水副会長から、今回初めてとなる日本応用地質学会表彰に関する説明があった。社員総会での表彰を行えなかったため、表彰盾を送ることとし、その出来形の報告があった。今後アウトリーチ特集号の表紙に表彰盾の写真を掲載するとのことであった。

5. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

以下の委員会、支部、特別委員会から資料の提出または報告があった。

1) 総務委員会

・6月12日開催の委員会議事録が提出された。

2) 広報情報委員会

・担当理事より、理事会、各委員会・研究部会等でWeb会議を行うことができるよう検討している旨報告された。現状Cisco WebexでのWeb会議システムを導入しているが、Zoomについてもライセンス取得を行って行く予定とのことであった。Web会議については総務委員会、事業企画委員会とも連携を図っていく。

3) 九州支部

・令和2年度支部総会の報告があった。

4) 社会貢献と魅力発信に関する特別委員会

5) アウトリーチに関する論文を学会誌8月号に掲載予定であるとの報告があった。